

2018年2月16～18日 四日市東日本大震災支援の会 第51回派遣

熊本県西原村仮設住宅サロン活動の報告

(暫定版) 2018年5月5日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

われわれ支援の会は、熊本県西原村において、2016年5・7・9・11月、2017年3・5・7・9・11月に、避難所支援、村内見守り活動、仮設住宅でのサロン活動などの緊急救援・生活支援・復興支援活動を行ってきた。2017年11月の段階において、生活再建によって仮設住宅から退去できた方はまだ少ない。西原村では、ボランティアが減少し、寒さが厳しくなる季節を迎える。寒さで引きこもりがちになり、体調がすぐれない日が続くお年寄りも多くなると思われる。そこで、空室が出始めた仮設コミュニティにおいて、ご近所づきあいを深めることを目的とし、足浴&お茶会を通して心身ともに温まってもらうサロン活動を開催した。

<活動概要>西原村仮設住宅でのお茶会&足浴交流会 (A・B棟2か所の集会所で開催)

日程がオリンピックと重なったため、午後の来場者は少なかったが、現地の中学生、高校生など、同世代の若者たちと交流ができた。

<参加者>合計 17名

四日市大学学生6名、教員1名、四日市看護医療大学学生6名、鶴見高校生徒2名、卒業生2名

<費用負担など>

高校生・大学生13,000円(学生スタッフ6,000円、ドライバー0円) 現地のみ10,000円

★活動日の昼食・夕食を支給(その他の食事は各自負担)

★宿泊(素泊まり); 熊本県山鹿市山鹿1838「旅館巳喜(みき)」電話0968-43-5178

<スケジュール概要>

★2月16日(金)

21:00 四日市大学出発(四日市大学バス停裏の職員駐車場)

★2月17日(土)

9:00頃; 仮設住宅到着

10:00～16:00 ボランティア⇒萌の里で土産購入⇒旅館巳喜 入浴&宿泊(夕食は旅館で支給)

★2月18日(日)

6:30 旅館出発 帰路 ⇒ 18:00頃大学帰着

